



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2007.4.6 Vol.112

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



特集

第三者評価 大学基準協会 福山大学を適合認定



入学式 学長告辞	1
学習に取り組む前に	2 ~ 3
・経済学部	
・人間文化学部	
・工学部	
・生命工学部	
・薬学部	
メディア情報文化学科開設	3
建築・建設学科開設	3
大学院人間科学研究科開設	3
キャンパスライフへの指針	4 ~ 5
特集 第三者評価適合	6
就職への取り組み	7
企業懇談会	7
研究室紹介(人間文化学科)	8
教員著書	8
日本農芸化学会功績賞受賞	9
In Action 2007 開催	9
中国・四国地区私立大学教職課程研究連絡協議会総会	9
キャンパスバリアフリー化を目指して	9
研究成果 特許申請	9
学内の全サークル紹介	10
行事予定	11



行手に光る“希望の星”

目標立て価値ある青春を

平成19年度入学式 学長告辞

ご来賓並びに保証人各位のご出席のもと、第33回入学式が挙行されますことを大変喜ばしく存じます。

新入生諸君、入学おめでとう。ようこそ、私たちの福山大学へ入学して来られました。私たち教職員と在学生は、挙げて諸君の入学を心から歓迎いたします。そして、今日から始まる皆さんの学園生活が実り豊かであれと心から願っております。

福山大学は今年で創立32周年を迎えます。卒業生総数はおよそ2万7千人、5学部14学科を擁する西日本有数の総合大学であります。この4月1日、大学基準協会より、大学基準適合を認定されました。薬剤師国家試験でも、常に上位グループにあり、高い評価を受けております。スポーツ面でも全国大会にたびたび出場する種目もいくつかあり、非常に活発です。さらに本学の教授陣容は、業績豊かで著名な先生がたが多く、大変充実しており、福山大学は研究・教育の上でも有数の総合大学であります。学生諸君はまずこのことを十分に承知して、名実ともに備わった大学であることを認識し、誇りをもって学んでください。

さて本学には創設以来、連綿と続いている建学の理念があります。「三蔵五訓」です。そこには本学創設者宮地茂先生の、大学創建への熱い想いが込められています。

「三蔵五訓」には、1. 物事に前向きに取り組む 2. 組織の目的・目標に向かってみんなと協力、協調しながら、積極的に取り組み 3. 多少の事では、へこたれない、強い忍耐力をもち 4. 道理をわきまえ、規範意識を強くもち

5. 自然を畏敬し、謙虚さを備えた、このような気持ちをもった人間になってほしいという大学創設の願いが表明されています。

昨今の世の中、内では少子高齢化が進み、格差問題がクローズアップされております。また目を外に転ずれば、イラク紛争の長期化、イラン問題、北朝鮮問題、加えて中国の目覚ましい台頭、世界は中国抜きには最早や語られ得なくなっております。さらに今や、あらゆる事象がグローバル化し、競争が世界中を席捲し、安穏とした日々を過ごせる状況ではなくなってきました。

そうした中、本学にも、中国をはじめ、外国人留学生が多数在籍、熱心に学んでおります。このような状況をみるにつけ、しばしば思われるのは、「日本の若者よ、自覚を深め、もっと確りしてください、無気力、無関心、無感動の“三無主義”はいけません。」ということです。諸君にとって今、大切なことは、この緑に包まれた静かな環境の中で、これからの青春の一時をどう過ごすのか、ということに尽きます。いかに目的意識をもって、充実した学園生活を営むかということです。

大学は高校までと違い、自分自身で勉強する場であるということは聞いたことがあると思います。一日も早く目標を打ち立て、それに向かって邁進してもらいたい。本学では、キャリア教育とか、フィールドワークとか、さまざまなメニューを用意し、さまざまな方法を通じて、皆さんが目標、目的を画き、その目標実現のため学ぶことのできる体制をとっております。皆さんが目的意識を確立し、やる気をもって挑戦するならば、勉学に、スポーツに、サークル活動に取り組む、洋々たる前途を拓く基盤が培われるでしょう。専門的な知識のみならず、基礎学力の必要性も認識でき、学習に意欲が湧いてくるはずで、近代的な超高層ビルも、確りした基礎からということと同じ理屈であります。

それとともに大切なのは、先に述べた「三蔵五訓」にある「全人格陶冶を目ざす全人教育」。この中に社会への貢献という使命観が重視されていますが、そのことも確りと身につけていただきたい。この4年間という限られた時間を、クラブ活動、小集団活動、社会貢献活動などを通じて、豊かな人間性を形成し、終生のよき友と師を得るなどして、人格的に一廻りも二廻りも大きくなっていただきたいと思います。

幅広い教養と専門知識や技術を習得すること、人生の道標となるような師をもつこと、信頼し合える友を得ることは、生涯を通じて貴重な財産となることを肝に銘じてください。

「教育とは夢を与えることなり」という言葉があります。熱い眼差しの学生諸君に対して情熱を傾ける私たち教職員は、学生諸君が自信と誇りと夢と、これを裏付ける実力をもてるように、最大限の努力をいたします。学生諸君、ぜひそれに応えてください。

いやそれ以上に漲る若い血潮を滾らせてください。師弟相和して、この三蔵丘に理想の学び舎を築き上げようではありませんか。私ども教職員とともに、夢の実現に邁進されますことを期待して、告辞とします。

平成19年4月6日

福山大学 学長 宮地 尚



学習に取り組む前に

付加価値をつけよう 准教授 島 敏夫

経済学部

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これからの4年間の大学生活に大きな夢と期待を膨らませていることでしょう。4年間の大学生活は長いようで意外と短いものです。夢を実現させるため、是非とも有意義な学生生活を送ってください。

いよいよ大学生活が始まります。大学の学習は所属学部・学科の専門科目が中心となります。定められた専門科目を一定単位数取得して卒業することが当初の目標になることは当然です。しかしながら、専門学校ではなく大学

に入学した皆さんは専門科目の学習だけに追われて4年間を過ごすのではなく、もう少し幅広く勉強して高所大所から物事を見つめ、判断できる人間になることが期待されているのです。第一にいろいろなジャンルの本を手当たり次第読んでください。幅広い知識と教養が身につきます。次に、自分の興味のある分野の本を集中的に読むことをお勧めします。貴方の興味・関心をさらに深化させ、得意分野を強化してくれます。幅広い知識や教養の上でこそ専門的知識が生きるのです。さらに、専

門以外に自分の得意な分野があるので、鬼に金棒です。それがあなたの付加価値なのです。今では大学卒は特別な肩書きではありません。重要なのは貴方が他の人とどこが違うかということです。知識や教養、語学力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、パソコン力、人間力、などいろいろな付加価値が考えられます。胸を張って言える自分の付加価値を身につけてください。



コミュニケーションが人を育てる 教授 三宅 正太郎

人間文化学部



新入生の皆さんは、これからさまざまな講義・実習・ゼミナールなどを通じて大学での学習に取り組むことになります。専門的な知識や技能、幅広い教養を身につけて大きく成長できると思います。しかし、ただ授業を受けているだけでは、質の高い学びを得ることはできません。大学という学びの場では、自ら学ぶ意

欲が不可欠です。「何のために、何を、どのように学ぶのか」ということについて、常に自分と対話することが必要になります。それは一人で思いつめて考えることのように、そうではありません。実は、自己との対話に不可欠なのは、他者とのコミュニケーションなのです。人は、コミュニケーションを通じて新しいものの見方・考え方を得ることができます。つまり、大学での友人や教授陣と

のコミュニケーションこそ、学びの質を高める重要な要素なのです。

ぜひ、たくさんの友人をつくり、コミュニケーション力・自己対話力を磨いてほしいと思います。生涯に渡って磨きあい、支えあうことのできる人間関係をつくっていきましょう。これから始まる大学での学習が、より実り多いものになることを期待しています。

やる気を出して、人生を変えよう 教授 上野谷 実

工学部

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。工学部は私たちが安全に、安心して、豊かに生活するために不可欠の電子・電気、建築・建設、情報、機械システムの4学科で構成されています。

近年、工業技術の進歩は著しく、同時に国際化も急速に進んでいます。皆さんが選択した学科の特長をよく理解して、社会との関連にも気を配りながら学習に取り組みましょう。

本学は私立大学では数少ない総合大学です。単科大学にはない幅広い

勉強ができます。単に工学の専門的な知識や技術だけでなく、一般教育の多くの科目を履修して、調和の取れた幅広い教養人を目指してください。皆さんが卒業してから遭遇する諸問題は理工学の知識だけでは対処できないことも多いでしょう。そのためにも文系の科目も是非勉強してほしいと思います。

福山大学には勉強できる環境が整えられていますが、本人にやる気があれば何の役にも立ちません。米国の行動心理学者ウィリアム・ジェ

ームスは言っています。心が変われば、行動が変わる。行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わる。人格が変われば、運命が変わる。

簡潔に言えば、心が変われば、運命が変わるということです。大学では自分の運命(人生)を変えることに挑戦しましょう。将来は大学で学んだことを基礎に技術者として社会で活躍することを期待しています。



五感で学ぶ 教授 秦野 琢之

生命工学部

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。生命工学部の教員、在学生は、皆さんを心から歓迎します。皆さんは各人さまざまな志望動機をもって、わが生命工学部に入学されたことと思います。生物が好きなことから、海や陸の環境を改善したい、バイオで食糧問題を解決したい、などなど。今まさに、それぞれの思いを実現する第一歩を踏み出したといえます。とはいえ、入学式を終えた



ばかりの皆さんの心の中には、大きな志と今後への不安とが同居していると思います。この拙文が少しでも皆さんの役に立てば幸いです。

大学は「学ぶ」場所です。いい点を取るためだけに勉強する場ではありません。また「学生」とは学ぶために生きている人のことです。つまり皆さんは、学ぶことを仕事として今後4年間を過ごすということになります。思いっきり、学んでください。そのために、いま何を心がけるか。まずは福山大学の環境に慣れ、一日

も早く福大生になってください。次に何から始めるか。それは体験を積むことだと思います。観る、聴く、触れる、場合によっては臭う、味わう、つまり五感を駆使して、何ごとにも臨んでください。

わからなければ尋ねる、自分で調べる、わからないまま放置しない、という当たり前のことを実践することが、「学ぶ」ことにつながるはずです。さあ共に学びましょう。

そしてもう一つ。志の表現型「笑顔」を忘れずに！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。きっと、希望に燃えて入学式に臨まれたことでしょう。そこで、皆さんが充実した大学生活を送り、立派な薬学人に成長されるよう、「3つの心構え」をこの小文に託したいと思います。

まず、1番目は、「自主性を持つこと」。高校時代と違って、何かをしてもらうのではなく、自分から強く求めなくてははいけません。まず、大学の勉強の仕組み、すなわち「履修表の作成」



に取り組んでください。2年生に進級するためには、一定の単位を取らなければなりません。「単位」は貰うものではなく、自ら獲得しなければならぬことに気づくはずです。

2番目は、「志を高くもつこと」。日頃から社会の動向や科学の進歩に関心を持ってください。国民の健康と福祉の向上を担う薬剤師の卵として、薬学の基礎を学ぶことがいかに大切かを自覚するはずです。

1年生や2年生のときの勉強が後で大変重要になってくるのです。

「継続は力なり」。これが3番目

の心構えです。図書館での下調べや、レポートの提出、中間試験や定期試験など、全てはこつこつと努力することで道が開けます。疑問点は友達と話し合ったり、先生に質問するのも良いでしょう。

4年次にはコンピュータによる評価試験（CBT）や臨床能力試験（OSCE）があります。これらの試験に合格するといよいよ病院・薬局実務実習へ出かけます。6年間の大学生活は長いですが、どうか幅広い知識をもった医療人として活躍する基盤を築き上げてください。



バーチャルスタジオ

メディア情報文化学科開設

人間文化学部教授 三宅 正太郎

平成19年4月より人間文化学部新たに「メディア情報文化学科」が開設されました。この学科では市民生活やビジネスシーンなどさまざまな分野において、情報を的確に読み解き、メディアで表現し、メッセージを明確に発信することができる「メディア」と「情報」で新しい文化を創造する人材の育成を目指します。

学科のカリキュラムの最大の特徴は、「デザイン系」「社会系」「情報系」「コミュニケーション系」の4つの系からバランスよく授業を履修できることです。それぞれの系では、理論だけでなく、実際に表現・制作（映像、CG、Web制作など）活動を行いながら学習を深めていきます。これらの活動を十全に支援するために、スタジオや編集機器などの本格的なプロ仕様の設備を備えています。

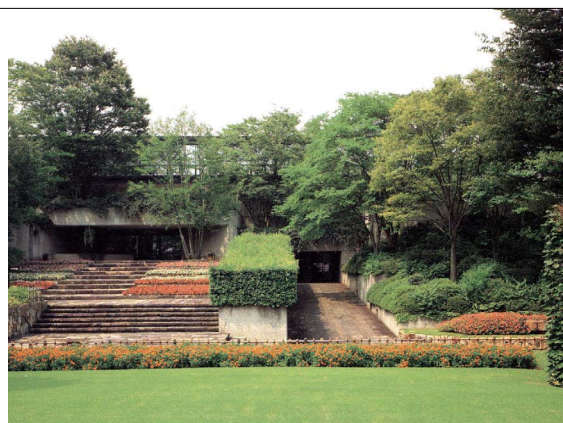
本学科で学んだ知識や技能が活かせるのは、「メディア」というコトバから一般的に連想されるマスコミ業界だけではなく、デザイン・IT・教育関連はもちろん、企業や自治体の宣伝広報、営業、企画、プロデュースなど幅広い職種での活躍が期待できます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

建築・建設学科開設

工学部教授 中山 昭夫

建築や構造物を創ることは何も大地に新しい形を誕生させることであり、地球環境を創生する一大事業です。ギリシャ・ローマ時代から人々により建築や都市が創られてきました。建物や都市を創る行為は時代と共に変化していますが、人類が地球に存在する限り永遠に存続していくもので、それが文化となって次代に引き継がれていきます。

地球環境の危機が叫ばれる中、従来の人間中心の開発から人間を取り巻く動植物、自然との共生を目指したインフラと居住環境の整備が求められるようになりました。このような新しい理念のもとで従来の建築と



土木の融合を図り、社会のニーズに対応した新しいシステムを構築し、両者の素養をあわせもつ新しい人材を育成するために、本学に建築・建設学科が設立されました。この学科では建築、住空間、スペースデザインの3つの建築系のコースと土木系の土木コースで学生の多様なニーズに応えていきます。

心理学科に大学院誕生！

人間文化学部教授 松田 文子

今春、人間文化学部心理学科を基礎として、人間科学研究科心理臨床学専攻(修士課程)が開設されました。いじめ、不登校、虐待、うつ、自殺など、心理臨床学の期待されている領域が、世の中に満ちあふれているということは、決して喜ばしいこと



実習例(中学校でのピアサポート)

ではありませんが、それだけ、私たちの人材養成に対する責任が大きいということでもあります。私たちの目指している心理臨床学は三つの点でかなりユニークです。一つは、社会的不適応への心理学的支援だけでなく、社会的不適応の予防や精神健康の増進なども視野に入れていることです。二つに、医療、福祉、教育、産業、司法などの社会の諸領域で役立つ職業人の育成を目指していることです。最後に、「こころの問題」を個人の問題にとどめることなく、社会の中の個人としてとらえ、心理学を超えた他の諸領域の専門家ともチームを組んで支援できる体制を備後地域を中心に作り上げていく、その人材を育てたいと思っています。そのためにも、幅広く社会人を積極的に受け入れています。大学内外の皆様のご指導・ご支援を期待しています。

キャンパスライフへの指針



明日の自分を信じる力！

薬学部教授 鶴田 泰人

教務

新入生諸君、入学おめでとうございます。希望と期待を胸に膨らませて入学されたことと思います。

本学では、人間性を尊重し、調和的な全人格陶冶を目指す全人教育を行うことを建学の理念としています。そこには、諸君が日々の生活の中で教員や友人との対話を通して知的に向上することの喜びを感じながら他人との接し方を学び、役立つ自分を認識して、自信をもって自分を好きになってほしい。そして、同じように他人を好きになり、生きていてうれしいという思いを実感し、将来に渡っての生きる力を培ってほしいという願いがこめられています。本学の建学理念にかなう人として育てもらうために、次のようなカリキュラムと種々の制度を用意しています。

【一般教育科目と専門教育科目】

一般教育科目は諸君に、教養を備え、創造性豊かな人間に育てもらうためのもので、一般科目と外国語科目があります。専門教育科目は各学部学科で特徴ある科目として開講されており、

特に薬学部では6年制となつてから新しい教育方法が取り入れられています。学生諸君は講義と演習や実習を履修し、さらに卒業論文・卒業研究を通して本当の価値観を基準とした「問題発見能力」「問題解決能力」や「コミュニケーション能力」を養っていくことになります。

【教養ゼミ】各学部学科の教員に1年次生が少人数で配属され、種々のテーマでの語り合いなどが行われます。教員と対話する機会が増えますので、会話が弾んでくれることを願っています。

【教養講座】いろいろな分野の専門家に講演して頂くもので、その中で、諸君には今からの人生を生き抜く知恵を学んでほしいと思います。

【授業公開】一般の社会人も一部の授業を受講できるようになっています。人生経験豊富な社会人とも知的な好奇心をもって積極的に交流し、視野を広げてほしいと思います。

【資格取得】教員免許など種々の資格が取得できるようなカリキュラムを設定しています。英語検定、漢

字検定、簿記検定などの受験の便宜を図っています。

【単位互換制度】福山平成大学と単位互換協定を結んでいます。また、カリフォルニア大学（米国）とは姉妹大学協定を、対外経済貿易大学、貴州師範大学および首都師範大学（中国）とは学術教育交流協定を結んでおり、これらの国外の大学への留学により一部の科目の単位が認定されます。

【進級・卒業】本学では学年制を設けており、進級・卒業するには定められた単位の取得が必要です。

その他、インターンシップなどいろいろな制度が用意されています。カリキュラムや制度については「学生便覧」に詳しく記載されていますが、不明な点はクラス担任・教養ゼミ担当教員や教務課に相談してください。大学生活は日々の意識の持ち方ひとつで大きく変わります。能動的に考え、まず一歩動き出すことで始まり、継続することで自信へとつながります。大学生活を通して、諸君が明日の自分を信じる力を培ってくれることを願っています。



充実したキャンパスライフを送るために

薬学部教授 澁谷 博孝

学生生活

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはこれから新しい大学生生活をスタートすることになりますが、まず福山大学の学生として、一日も早く生活の基盤を整えて、生活リズムの確立を目指してください。

4月9日からの1泊2日の新入生合宿オリエンテーションでは、学部・学科別にこれから一緒に学んでいく仲間達や先輩・先生方との交流を大いに深めてください。そして、在学中は福山大学学生として大いに青春を謳歌して、楽しく充実したキャンパスライフを送っていただきたいと思います。

そのためには、大学のルールを遵守し、学生生活を通じて各自のモラルを向上させることが極めて大切になります。そこで、学生生活に関連する基本的な事項を述べたいと思います。

1. 入学時に配布される学生証は、皆さんが福山大学の学生であることを証明する唯一のものです。各種証明書の発行や定期試験の際に必要で、万一紛失した場合は直ちに学生課で再発行の手続きをしてください。もちろん、学生証の貸借は禁止されています。

2. 皆さんの通学は、主にJR松永駅北口からのスクールバスやJR福山駅南口からの直行バス（輻鉄）を利用すると思います。バスの利用が困難な場合には、車両での通学が許可される場合もありますが、詳細については学生便覧の「車両通学細則」の項を熟知し、その上で学生課で相談してください。車両通学の際は、交通事故や交通違反を起こさないように充分注意してください。

3. 定期券（JR通学など）の購入を希望する場合は、通学証明書を学生課に申請してください。当然のことですが、アルバイト目的の通学証明書は発行されません。また、JR学割証も学生課に申請してください。

4. 奨学金制度には、日本学生支援機構や福山大学関係の奨学生制度などがあります。日本学生支援機構の奨学金貸与を希望する場合は、募集説明会に必ず出席してください。

5. 本学には、50を超えるサークルや同好会があります。できるだけ積極的に参加して、仲間の輪を大きく広げて活躍してください。

6. 本学では、建物内や指定場所以外での喫煙や歩行喫煙は禁止されて

います。美しいキャンパスの維持に協力してください。

以上のことを含めた学生生活全般については、学生便覧の「学生準則」、「車両通学細則」、「学生生活の心得」の項に示されています。

本学の定めている以上のような規則に違反したり、あるいは社会規範に反する行為をした場合には、本学の懲戒処分（訓告、停学、退学）の対象になります。もちろん、定期試験期間中のカンニングは厳しく処せられます。また、大学から皆さんへの種々の連絡は掲示によって行います。全学的な事項は1号館掲示板に、また学部・学科ごとの掲示板もあります。毎日、掲示板をチェックする習慣を身につけてください。

学生生活に関するさまざまな問題については、皆さんのクラス担任やゼミ担当の先生が相談に乗ってくれます。遠慮することなく、何事も早めに相談して解決することが大切です。

皆さんの福山大学におけるキャンパスライフが、楽しく実り多いものとなることを心から期待しています。



夏季集中語学研修に参加しよう

薬学部教授 赤崎 健司

国際交流

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。英語や中国語はこれから大学を卒業して社会人として活躍していく上で益々必要とされています。大学生の間に外国語をしっかりと身につけましょう。福山大学では米国カリフォルニア大学リバーサイド校(UCR)と中国北京市の對外経済貿易大学(UIBE)

と協定を結び、それぞれ集中英語研修、集中中国語研修を行っています。研修に触発され、さらに長期の研修に参加した学生もいます。夏季集中語学研修は単に語学力を高めるだけでなく、米国と中国の異文化に接することによって、国際感覚を身につけることができます。両研修とも8月の夏休みに約1ヵ月間行います。詳細は

学部の掲示板または福山大学ホームページ(<http://www.fukuyama-u.ac.jp>)の国際交流を見てください。多くの学生諸君の参加を望んでいます。



2006年度 UIBE集中中国語研修

図書館で郷土資料コーナーの活用を!!

経済学部教授 片岡 俊郎

附属図書館

平成の大合併により、広島県東部は、三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町に集約されました。

地域を語るには、産業基盤、生活環境基盤、保健・福祉・医療基盤、教育文化基盤、行財政基盤、広域基盤で見るのが一般的です。平成の大合併により6つの基盤を同等に扱うのではなく、広域基盤に基づいて、他の5基盤を見ることの重要性が増しています。

他方、地域を、政治、経済、技術、文化で理解する必要がありますが、と

りわけ文化は、精神文化を指し、学術、芸術、宗教、教育などが問題になります。地域の特色を理解するためには、精神文化に裏付けられた政治、経済、技術を問題にする必要があります。

広島県豊田郡沼田東村(現在の三原市沼田東町納所)出身の映画監督、田坂具隆(1902~1974年)をご存知でしょうか。東京の「三百人劇場」で2006年5月に「誠実一路、田坂具隆の世界」として、作品17本が上映されました。戦前の「五人の斥候兵」など

の戦争映画、戦後は石原裕次郎を主演にした「陽のあたる坂道」など、中村錦之助、佐久間良子を一人前の俳優にしたといわれる一連の映画作品などです。

田坂監督の作品が、戦争映画で国の広域(国際)基盤を、映画芸術という点で精神文化を取り扱っていると考えれば、作品は、田坂監督の出身地三原市から広島県東部、広島県、中国・四国地方、日本国、世界へと拡がりを持ちます。郷土を知れば、作品理解がよ

心身ともに健康なキャンパスライフを

保健管理室

新入生の皆さん、いよいよ新しい環境での生活が始まりますが、ぜひ心身ともに健康な充実した学生生活を送っていただきたいと思います。しかし、時には心身に異常を感じる場合もあると思います。そのような時は、気軽に学生会館1階にある保健管理室を訪ねてください。

保健管理室の主な業務は以下のとおりです。

1. 健康相談およびカウンセリング

全学部の学生を対象として健康相談に応じています。精神衛生専門医および臨床心理士によるカウンセリングも行っています。

2. 定期健康診断

自分の健康状態を把握する上で大切です。定期健康診断を必ず受診してください。異常が認められた場合には、再検査を行い、これに対処する保健指導を行っています。

3. 疾病・外傷等の応急措置

学内での急病や不慮の傷害が生じた場合、必要に応じて専門医療機関を紹介します。この場合、「健康保険証」または「遠隔地被扶養者健康保険証」が必要となります。

なお、学内での教育・研究活動中や課外活動中に不慮の災害・事故により障害を受けた場合、学生教育研究災害保険が適用されます。

心身ともに健康な学生生活を送る

には「友人・先輩・先生との語らい」が最も大切なことでしょう。いろいろな悩みを何時でも相談できる周りの人達は、皆さんにとって大切な「人生の友」になると思います。福山大学のキャンパスライフを通じて、多くの「人生の友」をつくってください。保健管理室は、皆さんの健康なキャンパスライフを応援しています。



情報を使いこなそう

工学部准教授 川久保 和雄

情報処理センター

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。みなさんはこれから新しい環境で学生生活をスタートしようと、期待に胸をふくらませていることと思います。

ところで、現代社会は情報の時代だといわれています。特にインターネットには、膨大な情報が氾濫していることは、よくご存知ですね。これらの情報をうまく使いこなせるかどうかによって、これからの学生生活や人生が大きく変わるといっても過言ではありません。ぜひこれらの情

報を効率的に取捨選択して、自分のものにする力をつけてください。そのためには積極的にパソコンを利用して、自分の道具として使いこなせるようにしましょう。

福山大学には多くのパソコンが設備され、どの建物からでも高速通信回線でインターネットにアクセスすることができると全学LANが整備されています。情報処理センターでは、大学全体のネットワークやサーバーの運用、インターネットへの接続など、みなさんに快適な情報環境を提供す

るための努力をしています。

情報処理センターは23号館の3階にあり、数多くのパソコンがみなさんを待っています。授業で使用している時間以外はいつでも自由に使えるように開放されていますので、ぜひ積極的に利用してください。但しマナーやモラルをきちんと守って、正しく利用してください。

情報処理センターをうまく活用して、学園生活を豊かで充実したものになるように、心から願っています。

大学基準協会が認定 『福山大学は大学基準に適合』

「評価の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。認定の期間は2014（平成26）年3月31日までとする。」で始まる121ページに及ぶ報告書が3月に福山大学に届きました。福山大学は平成18年3月に大学基準協会に第三者評価を申請していましたが、審査の結果、本学の教育・研究・施設・設備などが大学基準に適合すると認定されました。

【第三者評価とは何か】

平成3年に大学設置基準が大綱化され、続いて平成11年に大学設置基準が改定されました。それに伴って、大学の自己点検・評価が義務づけられました。すなわち、大学自らが点検を行い、教育・研究水準の向上を図り、大学としての社会的責任を果たすことが求められています。

さらに、平成14年に中央教育審議会が『大学の質の保証に係わる新たなシステムの構築について』と題した答申を行いました。その中で「大学の教育研究活動の状況について、国の認証を受けた第三者評価機関が大学を定期的に評価し、その結果を公表し社会的評価を受けるとともに、評価結果を踏まえて大学自ら改善することを促す制度を導入する」と記しました。平成14年の臨時国会で学校教育法が改正され、国立大学の法人化などに加え、第三者評価制度を平成16年度から導入すること、また7年毎に評価を受けなければならないことが法律で定められています。

【福山大学の取り組み】

このような流れの中で、本学は平成3年10月に自己評価委員会を設けました。当初は、教員各自が教育、研究および社会での活動を振り返るために、教育・研究業績自己申告書を提出し全学でまとめる作業を行いました。申告内容は、教育活動では担当科目や受講生数、研究活動では著書や論文の数、社会活動では地域社会での委員等への就任状況などでした。

平成15年にはFD委員会を設け、広島大学や山口大学からファカルティディベロップメントに精通している教授を招き、全教員を対象に講演会を行いました。

一方、第二者である学生の声を聞くために、『学生による大学に関するアンケート』を実施しました。質問は「休憩時間に有効に利用できる

設備についてどう思いますか」「事務職員の学生への接し方、言葉づかいは親切だと思いますか」などの13項目でした。その結果、「教室の空調」「スクールバスのダイヤ」「事務職員の対応」など多くの改善要望が出されました。また、本学専任教員が行っている授業について『学生による授業評価』を始めました。質問は「授業の分かりやすさ」「教員の授業に対する熱意」などの18項目です。集計結果は各教員に伝えるとともにホームページに掲載しています。

平成16年に自己評価委員会内に第三者評価小委員会を設けて、3つある第三者評価機関の中で本学が受けるにふさわしい機関の調査、他大学の状況の収集や自己点検項目の検討を行ってきました。



【『自己点検・評価報告書』の作成】

平成17年9月に吉永昭学長と宮地尚理事長は平成18年度に大学基準協会に第三者評価を受けることを決定しました。それを受け、吉永学長を委員長とした大学改革推進委員会を設け、自己評価委員会をその下部組織とするとともに第三者評価推進委員会を設けました。第三者評価推進委員会は松浦史登副学長を委員長として各学部の委員と各種委員会委員長で構成されました。

自己点検の内容は「大学の理念」「教育研究組織」「学生の受け入れ」などの16項目で、さらに細項目は150項目以上になります。そこで、第三者評価推進委員会が中心となり各点検項目について、「福山大学の現状」を正直に把握するように努めました。次いで、福山大学の理念と最高学府としての見識の基に客観的に「点検・評価」を行いました。それらの過程で浮かび上がった問題点について、実行可能な「改善・改革案」を記しました。

普通は2年ほど掛かるという作業を半年で行い、できあがった『自己点検・評価報告書』はA4版で600ページにもなりました。平成18年3月末に、30部の『自己点検・評価報告書』に加え『大学基礎データ』や『教員の研究業績リスト』などの段ボール箱9個分の膨大な資料を大学基準協会に提出しました。

平成18年11月2日に全国の大学から選ばれた6名の評価委員が来学し、実地調査が行われました。施設や授業の見学の後、全学や各学部に関する事項について評価委員との個別面談が行われました。また、学部毎に学生へのインタビューが行われました。学生は各学部から推薦されましたが、打ち合わせでは第三者評価の重要性を説明し、評価委員の質問には正直に答えるようにお願いしました。

【評価の内容と課題】

評価結果には「本協会に提出された『自己点検・評価報告書』は細項目ごとに【現状】【点検・評価】【改善・改革案】とまとめられており、わかりやすい構成になっている。データの誤記や表記の重複が見られる部分もあるが、「自画自賛」や「きれいごと」で済ますことなく、問題点を的確に浮き彫りにして客観的な点検・評価がなされている。合理的な改善策の提案を含め、全体としては正確で正直な記述がなされ、ほぼ満足できる客観的な解析が行われており、総合的に評価できる。」と記されています。この600ページに及ぶ『自己点検・評価報告書』を半年間という短期間に作成することができたのは、本学教職員の熱心で真面目な取り組みと、平成3年からの自己評価委員会の地道な活動の積み重ねの成果です。

大学基準に適合していると認定されましたが、(ロ)入学定員に満たない学部・学科があること、(ハ)専任教員数が不足している学科があること、(ニ)財務三表を広く公開されたいことの3点について勧告を受けました。また、多くの助言をいただきました。

『適合』と認定されたことは『ゴール』ではありません。勧告や多くの助言を真摯に受け止め、大学改革推進委員会を中心にして全学が一体となって改善を進めるための『出発点』に立ったところです。

（平成18年度自己評価委員長 壺井基夫）

就職活動ってどんなものだろう？

就職活動で企業説明会や就職試験にトライしつつある4年次生の皆さんは、今、いろいろな不安を感じていると思います。皆さんは、幼い頃は両親に導かれ、小学校に入ると先生の指導を受け、中学校・高校・大学とこれまでの二十数年間、受け身の形で教育を受けてきました。しかし、就職活動はそれとは全く異質の経験だと思います。どこが今までの経験と一番違うのでしょうか？

今までは受け身でいても、何となく方向づけられ、目の前に用意されたハードルさえ越えていけば、レールに乗った形で物事は過ぎ去り、なんらかの結果が得られました。しかし、就職活動は異なります。今まで自分が得た経験・知識・情熱・創造力など全てのものを活用し、自ら相手（会社）に働きかけなければなりません。多くの人と会話し、自分がどんな職

業に向いているのか？今後どのような方面で生きてゆくのか？という自分探しの旅なのです。今まで受け身で生きてきた環境とは全く異なり、能動的に行動しなければなりません。自ら会社を選び、自ら企業を訪問し、説明を受け、試験を受け、会社の色々な部門の人と何回も面接し、やっと内定を得るという過程を踏まなければならないのです。この点が今までと大きく異なる所です。自分から行動をとらなければ何も始まらないのです。受け身は許されません。

能動的な活動が要求されることに對して、多くの皆さんは、当初、困惑すると思います。しかし、多くの企業説明会に参加し、多くの人事担当の人と話をするうちに、次第に未知の企業を訪問することや、全く面識のない人と話すことにも慣れてくるはずです。世の中、何事も経験なのです。自分が何に興味があるのか？どんなことをやりたいのか？それら

も多くの企業を訪問し、説明を受け、人事担当の人と話すうちに、次第に自分の中に形として芽生えてくるはずです。まずは行動し自分の力で探求することです。

なぜこのような就職活動が必要なのでしょう？就職活動を通して得られる「自ら考えて行動する」という力こそが、今後身を置く会社の中で要求されるものだからです。全く面識のない人と会って話し、その人の信頼を得ることは簡単ではありません。就職活動の中で養われる力は会社での生活に大いに役立ちます。就職活動は社会生活に向けての訓練期間と言っても過言ではありません。現在、多くの企業が就職の「自由応募システム」を採用しているのはそこに理由があるからです。皆さんも就職活動が社会生活へ向けての訓練期間だと考えて、積極的にチャレンジしてください。

熱気に溢れた 企業懇談会

就職課

企業経営者・採用担当者と大学教職員が意見交換

大学と企業の相互発展で産業界と地域に貢献を

福山大学・福山平成大学主催の「企業懇談会」が、3月8日（木）、福山ニューキャッスルホテルにおいて中国・四国・近畿地方の優良企業160社の経営トップ・人事担当者204名をお招きして、盛大に行われました。

懇談会は、大学紹介ビデオの上映と廣瀬順造就職委員長の開会の言葉で始まり、続いて宮地 尚理事長・総長が挨拶を行い、「両大学は、建学の理念を大切に、常に物事を前向きに考えて行動でき、そして企業と社会に貢献できる人材の育成に努めております。」と、実践的な教育を重視する両大学の考えを述べました。企業を代表して挨拶をいただいた森

博己広島銀行常務取締役からは、「大学が発展すれば企業には優れた人材を送っていただける。企業が発展すれば大学は学生に活躍の場を提供できる。お互いにとって好ましいことで、企業が活性化している現在は誠に喜ばしい。」と、企業側からのエールを送っていただき、吉永 昭福山大学学長の力強い発声による乾杯の後、懇談に入りました。

懇談会は、企業側の挨拶にもありますように、採用への意欲の高まりを反映して、これまで以上に熱気に満ちた積極的な懇談と意見交換が行われ、大盛会のうちに大きな成果をあげて終了しました。

石病院、オー・エイチ・ティー、大宮工業、大本組、岡田石材、岡本電機、岡山医学検査センター、尾道造船、カイハラ、関西薬品、北川鉄工所、北原産業、木原興業、キャステム、共立、共和医理器、蒼生会楠本病院、クロダルマ、桑宗、ケイ・ディ・フドー、里仁会興生総合病院、光和物産、小西建築設計事務所、坂本デニム、ザクザク、佐藤工務店、山陰合同銀行、サンエイ、サンエス、サンキ、三共冷熱、三恵工業、サンテック、三平興業、山陽工業（広島市）、山陽工業（尾道市）、山陽石油、山陽設計、山陽染工、J F E スチール西日本製鉄所、シギヤ精機製作所、ジュンテンドー、新青山、新川電機、社団清風会、セイム、セガミメディクス、財団竹政会セントラル病院、総合警備保障、総合メディカル、外林、ソネック、大栄鋼業、ダイエツクックサプライ、大新土木、タカオ、タカノブ食品、タカヤ、タカヤ商事、タグチ工業、竹中工務店、広島支店、竹野木材、立川林産、辰川会、タツモ、田村薬品工業、中国ファーマシー、ツネイシホールディングス常石造船カンパニー、T & T タウンファーマ、テイオーファーマシー、テラルキョクトウ、トプロ、富永調剤薬局、頼

鉄道、内海造船、ナカタ・マックコーポレーション、なかやま牧場、名古屋製酪、ニチエー、日新電機、東製網福山工場、日本運搬機械、日本情報管理システム、日本メンテナンスエンジニアリング、野村証券福山支店、ハーティウオンツ、バナコス、ピーシー、ビッグボーン商事、ヒルタ工業、広建コンサルタンツ、広島銀行、広島県信用組合、備後通運、ファーマシー、フェニテックセミコンダクター、福井亀之助商店、福徳産業、福山ガス、福山ゴム工業、福山ゼネラルサービス、福山三菱自動車販売、福山臨床検査センター、藤木工務店、富士技術開発、富士建設、扶桑商会、扶桑薬品工業、プレひまわり、古川製作所、プレス工業、尾道工場、平和建設、北洋、本多フーズ、堀田組、松栄産業、マリンボリス、万惣、御池鐵工所、ミウラ、三谷産業、三菱重工紙・印刷機械事業部、三菱ふそうトラック・バス広島ふそう、啓卯会村上記念病院、知仁会メーブルヒル病院、メディアテック心、メディコ・ニナー、八洲電機、ヤスハラケミカル、やまひ、ユウホウ福山工場、ライト電業、両備信用組合、菱陽電機、リンクス、レニアス、ローム・ワコー

ご参加いただいた企業

アイセル、アイメックス、アウルメディカルサービス、青木組、あかね会、アキタ、アクトシステムズ、アグリングストリー、旭蝶繊維、旭電業、アマノ、アメニティー、安藤建設広島支店、池下設計、池田糖化工業、石井表記、伊豆義、伊藤忠エネクスホームライフ西日本、日立造船健康保険組合因島総合病院、因島薬品、ウツミ屋証券、栄工社、エス・エム・シー、エバルス、社団大仁会大



人間文化学科青木ゼミは、日本近現代文学研究をテーマとしています。「文学」というのは今では一種の死語に近くなっていますが、実は「これが文学だ」という、誰の目にも見える形があるわけではありません。「文学」は必ず誰かに読まれたり、鑑賞されたり、それぞれの人に把握されたものだからです。さまざまな文化の中で、それを享受する人がその主体的な関わりの中で「価値」を認めたものが「文学」だといえます。たとえば、それを読んで人生が変わったとか、ものの見方が変わったとか、そういったものです。

現代においては、「文学」の含み込むジャンルは広がっています。1970年代以降の激しい時代の変化の中で、それぞれの人が何に価値を認めるかによって、それが漫画であったり、映画であったり、アニメであったり、絵画であったりと、その対象は変化してきました。これまでの常識を越えた広いジャンルの中で、人は何が「文学」であるか、捉え直すようとしているといえます。

そういった中で、このゼミで最も重要なのは、まず自分が「価値」を認め、それまで心の中で温めて親しんできた文化があるかどうかということです。これさえあれば、このゼミの門をくぐることができます。

これが、一般的な自然科学の研究



と異なるところです。自然科学では、先生から研究課題をもらうことができますが、「文学研究」では原則的にはそれはあり得ません。自分が何らかの文化に惹かれるという、文化との主体的な関わりが第一歩だからです。そして、なぜそんなに自分が惹かれたのか、その理由を客観的に解き明かして、その文化の享受者、小説なら読者の代表として、その作品の優れているところを浮かび上がらせますし、またそれに惹かれた自分の中にある現代人の人間的な有り様を客観的に示して、現代社会への提言を行います。

平たく言えば、多くの文化の中で、現代を生き抜く上でこれが最も大事な何かを与えてくれるものだということを、他の人にメッセージとして伝えることがこのゼミの目標だといってよいでしょう。そのためには、内容を分析する力とともに、それを文章で伝える表現力が必要です。

これらの仕事は非常に孤独な作業です。本を読むこと、それを分析すること、それを文章に書くこと、すべて一人の内面で詰めていきます。これは主として4年次生の卒業論文を書く過程です。

青木ゼミでは、その過程では身につかない実践力を、3年次生のゼミ活動で鍛えます。それは、地域の文学、特に井伏鱒二の小説についての取材をし、地域で継承する文化をビデオ撮影して残す仕事です。すでに、「小説『朽助のゐる谷間』の舞台を訪ねて」というビデオを作成・発表しました。今年は大作「黒い雨」の取材にとりかかっています。写真(上)は、原爆で途絶えた温井神楽が現代に復活されたもので、写真(下)は、それを取材に行った際のメンバーです。地域の方たちとのふれあいはこの上なく楽しいひとときです。



本学教員著書の紹介

◎島 敏夫著

『中東世界を読む』

平成18年6月 創成社

(世界情勢・経済学部)

◎青野 篤子他著 (福富護編)

『ジェンダー心理学』

平成18年6月 朝倉書店

(社会心理学・人間文化学部)

◎久保 卓哉ら著 (吉田敬一主編)

『拍案驚奇訳注 第二冊』

不倫夫婦の因果応報』

平成18年6月刊 汲古書院 (東京)

(中国文学・人間文化学部)

◎松本 静夫、水上 優ら著

『フランク・ロイド・ライトと』

武田五一／日本趣味と近代建築』

平成19年1月 ふくやま美術館

(建築歴史意匠・工学部)

◎寺井 雅和・南 宏一著

『SP-237 CD Finite Element Analysis of Reinforced Concrete Structures』

2006年 ACI (American Concrete Institute)

(コンクリート工学・工学部)

◎Tatsuo Inoue et.al著 (Zhili Feng編)

『Progress and Mechanism of Welding Residual Stress and Distortion』

2006年11月 Woodhead Publishing Ltd.

(溶接工学、固体学力・工学部)

◎乾 靖夫著

『魚の変態の謎を解く』

平成18年6月 成山堂書店

(生物育種工学・生命工学部)

◎東中川 徹・松井 隆司他著

『ベーシックマスター分子生物学』

平成18年12月 オーム社

(分子生物学・薬学部)

◎川村 越・松井 隆司他著

『カラー図鑑 見てわかる生化学』

平成19年1月 メディカル

サイエンスインターナショナル

(生化学・薬学部)

◎片山 博和ら著

『最新 薬剤学 (第9版)』

平成18年9月 廣川書店

(製剤学・薬学部)

◎小野 行雄編著・富田 久夫、

秦 季之ら著

『薬学物理化学演習 第2版』

平成18年8月 廣川書店

(物理化学および製剤学・薬学部)

◎金尾 義治ら著 (永井 恒司監修)

『DDSの基礎と開発』

平成18年4月 シーエムシー出版

(薬剤学・薬学部)

◎金尾 義治ら著 (辻 彰編集)

『常用医薬品情報集』

平成19年1月 廣川書店

(薬物動態学・薬学部)

◎福長 将仁著 (柳原 保成編著)

『微生物学』

平成18年9月 南江堂出版

(医学・薬学部)

◎古野 浩二・杉原 成美共著

『薬剤師のためのメタボリック

シンドロームの基礎知識』

平成18年9月 ふくろう出版

(衛生化学・薬学部)

日本農芸化学会 功績賞 受賞

生命工学部生物工学科 藤田 泰太郎 教授

2007年度日本農芸化学会功績賞を藤田泰太郎教授(生物工学科)が、受賞されました。受賞研究課題は「枯草菌代謝ネットワークのカタボライト抑制の分子機構」。授賞式、受賞講演は3月24日、日本農芸化学会2007年度大会が開催された東京農業大学で行われました。

藤田教授は30年以上にわたって納豆菌の仲間である枯草菌を生物材料とし、グルコース存在下では、他の炭素源分解系の酵素合成(遺伝子の発現)が抑制される現象=「カタボライト抑制」

を中心とした代謝制御に関する研究を、遺伝子、ゲノム、そしてプロテオームレベルで精力的に展開してられました。かつて、大腸菌で明らかとなり今日まで一般的とされた炭素源代謝の「正の制御」はむしろマイナーであり、藤田教授が枯草菌で解明された「負の制御」こそが多くの生物に普遍的に適用されることを明らかにされました。さらに、先生はアミノ酸代謝や病原菌の毒素生産機作にも、この制御系が関与することを示されました。今後は、生化学の

教科書が書き換えられることになるでしょう。藤田教授の受賞を心より祝福したいと思います。

特筆することがもう一つあります。私立大学の研究者が、その私立大学で長年続けてきた研究に対して、このような権威ある賞が与えられるのは、日本農芸化学会の長い歴史の中でも前例がありません。この度の受賞は、藤田研究室の学生、卒業生、研究員はもちろんのこと、生物工学科や福山大学にとっても大きな名誉です。

人間文化学部主催 In Action 2007 開催

人間文化学部では、平成17年度から学部の教育・研究活動を多くの人に知っていただく事を目的としたイベント“お花見コンサート”を実施してきました。今年度より、“In Action 2007”と名称を一新すると共に、外部から文化人を招いての講演や、人間文化学部の学生の研究発表、吹奏楽部・管弦楽団・三蔵太鼓などによる演奏など、企画内容をより充実させて行います。また、今回から一般の方が参加しやすいよう開催日を日曜日に変更しました。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

日 時:平成19年4月15日(日) 13:00~16:45

場 所:福山大学大学会館ホール他

企画内容:・人間文化学部学科紹介

・学科代表学生研究発表

・文化講演「アニメーション生き生き」

講師:木下小夜子氏

(国際アニメーションフィルム協会会長)

・お花見コンサート

福山大学 人間文化学部

In Action 2007

第三回お花見コンサート同時開催

中国・四国地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2007年度研究協議会・定期総会の開催

福山大学の各学部・学科では、それぞれ中学校、高等学校の教員を養成する教職課程を設置しています。中国・四国地区で教職課程を開設している私立の33大学は中国・四国地区私立大学教職課程研究連絡協議会(会長:福山大学学長)を組織し、相互に連携して教職課程のあり方を検討しています。福山大学は同協議会の幹事校を務めており、2007年度の研究協議会が本学で開催されます。第1部の研究協議会では“教師の実践力向上に資する提言”をテーマに講師をお招きして最近問題となっている教師の実践力について講演していただきます。

日 時:平成19年4月21日(土) 13:00~17:00

場 所:福山大学 大学会館3階 会議室3

内 容:第1部 研究協議会の部

テーマ“教師の実践力向上に資する提言”

「特別支援教育の現場から」

愛知県立半田養護学校教諭 山本 純士 氏

「指導力不足教員の研修制度から」

広島県教育委員会指導二課より講師派遣予定

第2部 定期総会の部

キャンパスのバリアフリー化を目指して

福山大学キャンパスは、緑の丘陵に広がり豊かな自然に恵まれています。しかし、丘陵地であるため起伏が多く、広いキャンパスの移動には困難が伴います。そこで、平成16年度からキャンパスにエスカレータやエレベータを設置してバリアフリー化を推進しています。まず、平成16年度に第一学生駐車場から大学会館までと大学会館からロダン橋下のスクールバス乗り場までをつなぐ長いエスカレータが設置され、平成17年度にはグリーンサイエンス研究センターの北側にエレベータが設置されました。続いて平成18年度にはロダン橋下からロダン橋までと4号館前から23号館までのエレベータが設置されました。これらの一連の設備によって、高低差の大きな場所の移動が容易となり、当面のバリアフリー化が完了しました。



福山大学の研究成果 続々と特許申請

福山大学では、研究成果を社会に還元することを目的として、平成18年度に社会連携委員会を設置するとともに、広島TLOにも参加しています。研究成果をもとに特許を取得して広く公表することは、その取り組みの一つです。

平成18年度は、特許申請や取得が相次ぎました。生命工学部応用生物科学科の里内 清教授の研究グループは、スフィンゴシン-1-リン酸やリゾホスファチジン酸を少量の試料で迅速かつ精度良く測定する分析方法を開発しましたが、この技術について福山大学が特許を申請し、2006年8月に「生理活性リゾリン脂質の分析方法」という国際特許を取得しました。また、工学部建築・建設学科の梅田眞三郎教授は、X字形交差流れの可視化研究から、より複雑なネットワーク流れの解析へと研究を進展させていますが、その中で菱形角柱群管路からの流出する噴流が自励振動を発現し、マイクロバブルを発生することを発見し、広島TLOと協力して二つの特許を出願しています。福山大学や広島TLOはこのような特許の申請や取得、実用化を積極的に支援していく予定です。

サークル紹介

学友会サークル紹介

●サークル名, 顧問名(所属) ●年間の主な大会・行事

体育系 (39サークル)

- 陸上競技部 鶴崎 健一(税務会計)
 - 中国四国学生陸上競技選手権大会
 - 中国四国学生駅伝競走大会
- サッカー部 吉田 卓史(経済)
 - 広島県学生サッカー連盟リーグ戦
 - 中国学生サッカーリーグ戦
- 硬式野球部 上迫 明(経済)
 - 中国六大学野球春季・秋季リーグ戦
- ラグビー部 伏見 浩(海洋生物)
 - 広島県リーグ戦
- 軟式野球部 梅田 眞三郎(建築・建設)
 - 西日本地区学生軟式野球リーグ戦
- 硬式庭球部 上野谷 実(建築・建設)
 - 広島県大学庭球選手権大会
 - 中国四国学生テニス選手権大会
- ソフトテニス部 新谷 敏朗(情報)
 - 中四国学生ソフトテニス選手権大会
 - 中国学生ソフトテニス選手権大会
- バスケットボール部 原口 博行(生物)
 - 広島県学生バスケットボールリーグ戦
 - 中国学生バスケットボール選手権大会
- バレーボール部 足立 浩一(国際経済)
 - 中国四国学生バレーボール選手権大会
 - 中国大学バレーボールリーグ
- 卓球部 千葉 利晃(情報)
 - 中国学生卓球選手権大会
- バドミントン部 真鍋 圭司(機械システム)
 - 中四国学生バドミントンリーグ戦
 - 広島県学生バドミントン選手権大会
- 剣道部 香川 直己(電子・電気)
 - 中四国学生選手権大会
 - 西日本学生剣道優勝大会

- 柔道部 小林 正和(経済)
 - 中国四国学生柔道体重別選手権大会
 - 中国四国学生柔道優勝大会
- ワンダーフォーゲル部 清水 光(情報)
- 空手道部 中山 昭夫(建築・建設)
 - 広島県大学空手道選手権大会
 - 西日本大学空手道選手権大会
- 合気道部 掛江 正造(経済)
 - 中四国学生演武大会
 - 全日本合気道演武大会
- 少林寺拳法部 地主 弘幸(環境情報)
 - 少林寺拳法広島県大会
 - 中国四国学生少林寺拳法大会
- 実践空手道部 里内 清(応用生物)
 - 全日本オープン選手権大会
- 弓道部 井上 達雄(機械システム)
 - 中国学生弓道選手権大会
 - 西日本学生弓道選手権大会
- ゴルフ部 藤岡 照夫(国際経済)
 - 中国学生ゴルフ対抗戦
 - 中四国学生ゴルフ選手権大会
- 二輪部 河原 栄二郎(海洋生物)
 - ツーリング
 - ジムカーナ
- スキー部 富田 武満(建築・建設)
 - 広島県学生スキー選手権大会
- ボウリング部 山口 泰典(生物)
 - 中四国学生リーグ戦
 - 西日本学生ボウリング選手権大会
- 水泳部 小林 正和(経済)
 - 中国四国学生水泳選手権大会

- ユースホステル部 田中 聡(電子・電気)
 - サマーキャンプ
 - 各種ホステリング
- ボート部 無漏田 芳信(建築・建設)
 - 中国学生漕艇選手権大会
 - 朝日レガッタ
- ボードセーリング部 片岡 俊郎(経済)
- 自転車部 足立 浩一(国際経済)
 - MTB 5時間耐久レース
- ビリヤード同好会
 - 足立 浩一(国際経済)
 - 西日本学生選手権大会
- ダンス部 三宅 幹子(心理)
- キャラバン部 三谷 康夫(電子・電気)
- 剣道同好会 梅田 眞三郎(建築・建設)
- バレーを愛する会
 - 重迫 隆司(人間文化)
- ソフトボール同好会 原 千史(人間文化)
- アウトドア同好会 小野 泰(建築・建設)
- フットサル同好会
 - 三宅 正太郎(メディア情報文化)
- 女子バレーボール同好会
 - 簡本 和広(経済)
- 女子ソフトボール同好会
 - 足立 浩一(国際経済)
- 三蔵太鼓を打つ会
 - 占部 逸正(電子・電気)
 - 各種演奏会

文化系 (24サークル)

- 吹奏楽部 伊藤 祐一(税務会計)
 - 定期演奏会
 - 広島県吹奏楽コンクール
- 管弦楽団 青木 美保(人間文化)
 - 各種演奏会
- 写真部 寺井 雅和(建築・建設)
 - 写真展
- 美術部 南 宏一(建築・建設)
 - 美術展
- 華道部 山本 覚(生物)
 - 三蔵祭華展
- 茶道部 山本 覚(生物)
 - 三蔵祭茶会

- コンピュータ部 川久保 和雄(情報)
- 演劇部 石丸 敬二(経済)
 - 各種公演
- 陶芸部 掛江 正造(経済)
 - 作品展
- 電子・電気研究会 伊藤 祐一(税務会計)
- ESS同好会 中山 昭夫(建築・建設)
- 映画研究会 重迫 隆司(人間文化)
- 生命工学研究会 原口 博行(生物)
- 海洋生物研究会 伏見 浩(海洋生物)
- 会計・簿記研究会 小林 陽治(税務会計)

- ロボット研究会 木村 純壮(機械システム)
 - ロボットグランプリ
- サブカルチャークラブ
 - 重迫 隆司(人間文化)
- YRC同好会 佐藤 英治(薬学)
- 漫画研究会 玉木 健弘(心理)
- Light Music Club 掛江 正造(経済)
- 書道同好会 澁谷 博孝(薬学)
- さいころ.net 山崎 理央(心理)
- アマチュア無線部
- お笑い研究会

平成19年度 主要行事日程予定表

4月1日(日)	前期(4/1～9/15)
4月4日(水)～10日(火)	学内オリエンテーション(在学生)
4月4日(水)	春季健康診断(在学生)
4月6日(金)	入学式
4月7日(土)	学内オリエンテーション(新入生)
4月9日(月)～10日(火)	新入生合宿オリエンテーション・セミナー
4月9日(月)～11日(水)	春季健康診断(在学生)
4月10日(火)	履修届提出締切(2～4年次生)
4月11日(水)	前期授業開始
4月11日(水)～13日(金)	春季健康診断(新入生)
4月12日(木)	履修届提出締切(1年次生)
4月21日(土)	4年次生保証人との就職懇談会(薬学部)
5月15日(火)	開学記念日
5月22日(火)～24(木)	教職員健康診断(特別健康診断を含む)
7月21日(土)	前期授業終了
7月23日(月)～31日(火)	全学前期定期試験
8月1日(水)	夏季休業開始
8月25日(土)～9月2日(日)	教育懇談会
9月15日(土)	夏季休業終了
9月18日(火)	後期授業開始(9/18～3/31)
9月中旬～10月中旬	大学院入試 (経済学・人間科学・工学・薬学研究科)
9月中旬～10月下旬	公開講座
10月26日(金)～29日(月)	大学祭(三蔵祭)・ 学長杯争奪競技大会

11月7日(水)～8日(木)	平成20年度推薦入学試験
11月13日(火)～15日(木)	秋季健康診断(学生)
11月29日(木)	教職員健康診断(特別健康診断を含む)
11月下旬	3年次生保証人との就職懇談会 (経済学部・人間文化学部)
12月20日(木)	授業終了
12月21日(金)	冬季休業開始
12月28日(金)	仕事納め
12月29日(土)～1月4日(金)	年末・年始休業
1月5日(土)	仕事始め
1月10日(木)	冬季休業終了
1月11日(金)	授業開始
1月19日(土)～20日(日)	大学入試センター試験
1月30日(水)	後期授業終了
1月31日(木)～2月3日(日)	平成20年度前期入学試験(全学部)
2月4日(月)～16日(土)	後期定期試験
2月18日(月)～29日(金)	学部・学科別行事
2月下旬	3年次生保証人との就職懇談会(工学部)
3月1日(土)～	春季休業
3月上旬	企業懇談会
3月14日(金)～15日(土)	平成20年度後期入学試験(全学部)
3月上旬	3年次生保証人との就職懇談会 (生命工学部)
3月20日(木)	学位記授与式(卒業式)

【備考】

本予定表は全学的な関係行事に限定したものです。各学部・各部局・各委員会などについては、そのおのおのにおいて処理し、必要に応じて月間予定表に記載されます。

4月の行事

4月4日(水)	オリエンテーション	4年次生
	春季健康診断	2・4・院・男
4月5日(木)	オリエンテーション	2・3年次生
4月6日(金)	入学式	
4月7日(土)	オリエンテーション	1～4年次生
4月9日(月)	新入生合宿オリエンテーション	
	オリエンテーション	2～4年次生
	履修登録(OCRの提出)	2～4年次生
	春季健康診断	2・4・院・男
4月10日(火)	新入生合宿オリエンテーション	
	オリエンテーション	2～4年次生

4月10日(火)	履修登録(OCRの提出)	2～4年次生
	春季健康診断	
		午前:2・4・院・男, 午後:2・4・院・女
4月11日(水)	授業開始	
	春季健康診断	1・2・4・院・女
4月12日(木)	履修登録(OCRの提出)	1年次生
	春季健康診断	午前:1年次・女
		午後:1年次・男
4月13日(金)	春季健康診断	1年次・男
4月15日(日)	人間文化学部「In Action 2007」 (第3回お花見コンサート同時開催)	

広報委員会から

福山大学学報は本学創立の昭和50年以来、同一のスタイルを守ってこれまでに111回発行されています。そして、第112号からA4版のカラー印刷物として発行することになりました。今後は、学生の皆さんが興味をもてる内容に充実していく予定です。ご期待ください。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL (084) 936-2111 FAX (084) 936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>